



南陽小学校だより 「いい顔 いい声 いい心」 NO19

発行：令和3年3月24日（水） 文責：校長 野田 浩司

南陽小学校 HP：http://www.nagasaki-city.ed.jp/nanyo-e/



☆それぞれの節目から新たなステージへ

3月18日に卒業証書授与式が行われ、63名の子供たちが巣立っていきました。

そして今日、在校生に修了証書（「はちろう」の中にあります）が手渡され、無事に今年度を締めくくることができました。また、本日は離任式も行われ、6名の先生方とのお別れをしました。大好きな先生とのお別れもまた大切な教育的経験です。

春は出会いと別れの季節と言われますが、それぞれの節目を経験し、また新たなステージへと進んでいきます。これまでの学びや経験を基盤として、さらに人間的な成長をしていくものと思っています。

人間は一生のうちに、会うべき人には必ず会える。

しかも一瞬早すぎず、一瞬遅すぎない時に。

森信三（哲学者・教育者）

出会いについて、私が大切にしている言葉です。

さて、今年度、新任校長として赴任し、あっという間に1年が過ぎました。コロナ禍ということもあり、なかなか保護者の皆様ともお話する機会が少なかったのですが、お会いできたときには、とても気さくにお話をしてくださり、大変ありがたく思いました。次年度も当分は新型コロナウイルスの影響が続くと思われませんが、できる限りの対策をして、教育活動や育友会活動への影響をできるだけ少なくしていきたいと思っています。

今年度同様、保護者の皆様の御支援・御協力をどうぞよろしくお願いいたします。

○ホームページ年間5000閲覧まであと少し！

数字には力があります。例えば自主学习ノートに番号を振っておくと、自分が学んできた足跡を冊数という形で振り返ることができます。学級通信なども「第〇号」が、例えばもうすぐ第100号になると思っただけで、気合が入ってきます。南陽小学校のホームページは、以前もお知らせしたように年間5,000カウント閲覧を目標に内容のリニューアルを行ってきました。当初、5,000という数字は難しいだろうと思っていましたが、現在、目標（82,441）まであと約20カウントとなっていて、今年度中に達成できそうな感じがしてきたところです。御活用いただきありがとうございます。次年度は、長崎市全体で学校ホームページのリニューアルが行われる予定ですが、今年度築いてきた情報発信のスタンスは維持していこうと思っています。引き続き南陽小ホームページを御活用ください。（裏面へ続く）

修了式 代表あいさつの概要を紹介します。

2年 W Wさん

ぼくが2年生で頑張ったことはなわとびです。二重跳びはできていたけど、ハヤブサができませんでした。しのさんたちが跳んでいるのを見て「やるぞ」と思って頑張りました。しのさんたちにコツを教えてもらって練習したらできるようになりました。一人でするより、友達と一緒にするとできるようになると初めてわかりました。3年生ではハヤブサで10回以上跳びたいです。

2年 M Kさん

わたしが2年生で頑張ったことは、みんなの前で発表することです。最初はあまり話せなかったけど少しずつ話せるようになりました。しゃべれなかったら話したいことが言えないけど、しゃべれるようになったら話したいことがすぐに話せました。だから話せることはとても嬉しいことだとわかりました。3年生になったら難しい言葉も覚えて発表も頑張ります。

2年 U Kさん

3学期に頑張ったことは二重跳びです。はじめは1回しか跳べませんでした。でもいっぱい練習したら、できるようになりました。嬉しかったです。次は100回を目指したいです。他にも体育のキックベースを頑張りました。ボールを遠くへ蹴り飛ばして一生懸命走りました。3年生になってもあきらめない心をもって何にでも挑戦したいです。

5年 K Rさん

ぼくが3学期に頑張ったことは二つあります。一つめは漢字です。漢字のテストは以前は80点くらいでした。100点を目指そうと目標を立て、漢字の宿題をできるだけ丁寧に書きました。また一つ一つの漢字の意味を知るために、漢字辞典を引くこともしました。すると前よりも漢字を覚えられるようになりました。二つめは友達の手伝いです。周りの人に目を配り、自分から進んで声をかけるようにしました。しかし、自分から進んで声をかけるのは、とても勇気がいり、難しいです。そういう時には「やらずに後悔するより、やって後悔しよう」という言葉を自分に言い聞かせます。次に6年生の目標です。6年生では「当たり前前を当たり前前」でできる」ということを目標にします。あいさつ、返事、姿勢、当たり前前はほかにもたくさんありますが、それをしっかりやり遂げ、続けることは難しいことです。今まで頑張ってきたことを自分の糧として「格好いい6年生」になるために、日々頑張りたいです。

5年 K Mさん

5年生の1年間は初めて尽くしの1年だったと思います。初めての例としては、5・6年生で取り組んだ委員会活動、新しく時間割に加わった家庭科の授業、そして10月に行った宿泊学習などです。その中でも特に心に残っているのは委員会活動です。私は今年、放送・掲示委員会に入りました。放送は決まった時刻に放送しないといけないし、機械の操作にも慣れなければいけなかったのが、最初のころはとても大変でした。しかも、放送は全校に流れるので時刻に遅れず間違えないようにしなければならぬという緊張感もありました。大変だったけど今はやりがいを感じています。次に6年生で頑張りたいことです。最高学年として、下級生を引っ張り、学校の隅々まで目を配り、学校を支えたいと思っています。そのために、最高学年にふさわしい言動や態度で周りの人に接していきます。頼りになる6年生と言ってもらえるように頑張ります。

発表児童 画像は削除しています。